

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人 わかば健成会  
保育園おひさまのほっぺ

平成28年2月22日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

# 目次

## 評価結果総括

- 評価方法 ..... 1
- 総合評価 ..... 2
- 評価領域ごとの特記事項 ..... 4
  - 人権の尊重
  - 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス
  - サービスマネジメントシステムの確立
  - 地域との交流、連携
  - 運営上の透明性の確保と継続性
  - 職員の資質向上

## 分類別評価結果

- 利用者本人（子ども本人）の尊重 ..... 7
- サービスの実施内容 ..... 10
- 地域支援機能 ..... 14
- 開かれた運営 ..... 15
- 人材育成、援助技術の向上 ..... 16
- 経営管理 ..... 17

## 利用者本人調査

- 利用者本人調査結果 ..... 18

## 家族アンケート結果

- アンケートの概要 ..... 23
- アンケート結果 ..... 24

## 事業者コメント

- 事業者からのコメント ..... 29

## 評価結果総括

---

法人名 社会福祉法人 わかば健成会  
事業所名 保育園おひさまのほっぺ  
施設長名 重谷 ますみ

### □ 評価方法

#### 自己評価方法

実施期間 平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日  
実施方法 全職員が協議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

#### 評価調査員による評価方法

実施日 平成 28 年 1 月 12 日、平成 27 年 1 月 19 日  
実施方法 評価調査者が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で確認した。

#### 利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 27 年 11 月 16 日～平成 27 年 12 月 12 日  
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関へ郵送してもらった。

#### 利用者本人調査方法

実施日 平成 28 年 1 月 12 日、平成 28 年 1 月 19 日  
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

## □ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

### 〔施設の概要〕

保育園おひさまのほっぺの運営法人は、社会福祉法人わかば健成会で神奈川県大和市で保育所（2施設）と乳幼児園を運営しています。園は平成22年3月に生後8週目から就学前児童を対象として開設し、定員は60名で現在66名が在籍しています。小田急江ノ島線鶴間駅から徒歩15分ほどの国道467号沿いに位置しています。園舎の屋上遊びのほか近隣に点在している大小の広場や公園、園の裏にある森など地域性を活かし、子どもの発達や体力に合わせて園外活動に取り入れています。さらに子どもの生活や遊びが豊かになるように、環境を考えている市民活動団体、読み聞かせ、礼儀作法教室といった地域のボランティアの協力を得て活動しています。

### 《優れている点》

#### 1. 地域や社会との関わりの中で子どもが育っています

園ではボランティアで環境を考えている市民活動団体のメンバーと一緒に、森の探索や動植物の観察に出かけたり、園の行事やおもちつきに招待するなど連携を密にしています。近隣の畑での芋ほりでは、畑周辺の地域住民や親子と一緒に芋ほりを楽しんでいます。読み聞かせや礼儀作法教室にもボランティアの協力が得られています。さらに、中学校2校の体験学習を受け入れ子どもたちと交流しています。老人福祉施設訪問では、子どもたちが歌や体操を披露しています。大和保健福祉センターを利用して他園児と合同リズムを楽しんでいます。子どもたちは地域の色々な人々との交流や地域を知る体験を通して成長しています。

#### 2. 地域の子育て支援に積極的に取り組んでいます

保育所の専門性を活かし、地域で子育てをする人々を支援するために、子育て家庭同士の交流や情報交換の場の提供（育児支援事業）、専門的な相談実施（相談支援事業）、妊娠中または出産直後から身近な保育所に登録することによる育児教室などの支援（登録型支援事業）、園児との交流の促進（交流型支援事業）を丁寧に展開しています。具体例として一時保育、園児とおやつを一緒に作るなどの交流保育、保育園開放、プレママ講座（妊娠している女性対象）、離乳食講座、ベビーマッサージ教室などを開催しています。また出張講座のPRも行い、積極的に取り組んでいます。

### 3. 全職員で子どもの育ちに取り組む姿勢があります

園長のリーダーシップ、主任のスーパーバイザーとしての役割の下、職員は密にコミュニケーションを図り、クラス担任、常勤、非常勤にこだわらず、協力しながら子どもやクラスの様子を把握しています。経験の浅い常勤職員をサポートできる非常勤職員もいます。業務委託業者の栄養士も日々の食事提供のほか食育計画にも関わっており、専門的な立場で子どもたちの育ちを見守っています。また、運営法人内 3 園合同の内部研修の救急救命講習、大和市や大学主催の外部研修に積極的に参加しています。園内研修も毎月ではありませんがテーマを決め実施しており、全職員で子どもの育ちを考え取り組んで行こうとする姿勢があります。

#### 《改善することが期待される事項》

##### 1. 特に配慮が必要な子どもに対し、個別指導計画に基づいた支援が期待されます

園では特に配慮が必要な子どもを積極的に受け入れています。障害に依りて大和市すくすく子育て課の発達支援担当の巡回指導カンファレンスで指導やアドバイスを得ています。また、子どもたちは障害のあるなしに関わらず、自然な関係を築いています。配慮が必要な子どもも職員の支援を受けながらクラスの一員として過ごしています。しかし、個別の支援計画の作成はなく、日誌での記載や他の幼児同様 4 期ごとの成長発達の記録となっています。特に配慮が必要な子どものよりよい発達をめざした適切な対応のため、個別の指導計画の作成が期待されます。

##### 2. 中長期的な視野に基づいた計画の作成が期待されます

園の単年度の事業計画書はありますが、明文化した中長期計画はありません。園長は、園の運営状況を分析し、改善が必要と思われる課題については運営法人の理事会で検討をしています。これらに基づき園に重要な方向性を定め、運営をしていくために、中長期的な視野に基づいた計画（園に適合した人材を育成する仕組み等を含む）を作成し関係者と共有することが期待されます。

## □ 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

- ① 子どもの主体性と地域に開かれた保育所としての役割を主旨とした保育理念を掲げています。保育方針は、「子どもたちが安心して安定した集団生活が送れるように、愛情と誠意を持った保育を目指します」ほか4項目となっています。それらを踏まえ保育目標の「友達と一緒に元気に遊べる子」「やさしい思いやりのもてる子」「自分の思ったことや考えを表現できる子」を育むための保育園作りを全職員が理解し実践につなげるよう努めており、利用者本人を尊重したものになっています。
- ② 職員は子どもの人格を尊重した言葉遣いや関わりに留意しています。子どもを注意する場面でも、否定をせず、子どもの話そうとする姿勢を大切にしています。
- ③ 個人情報取り扱いに関するガイドラインがあります。個人情報に関する記録、書類は事務所内の施錠できる書棚に保管管理しています。書類は、園長、主任に了解を得て、事務室或いは保育室で閲覧、記録記入をし、園外持ち出しは禁止しています。
- ④ 遊びや行事役割で男女区別はしていません。便宜上、順番やグループ分けを男女で行っているケースはあります。

### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 保育課程に基づき、子どもが、何をしたいのか、どのように進めたいのかを見守りながら、必要なことは十分に説明し、子どもが納得して主体的に取り組むことを大切にした年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。計画はあくまでも計画として柔軟性を持たせています。
- ② 清掃に関し、保育室は担任が、トイレは当番を決めて行っています。廊下や階段など共有部分は園長・主任が行っています。いずれも衛生マニュアルに基づいて清掃し、清潔に保たれています。空気清浄機の設置、床暖房（0、1歳児保育室）、24時間空調のほか窓を開けての適宜の換気など過ごしやすい環境づくりに配慮しています。
- ③ 0～2歳児クラスは全員個別指導計画を作成しています。個別の指導計画は担任が作成し、個別の課題がある場合は職員会議・乳児会議・幼児会議で共通事項として話し合い、ほかの職員からの意見も参考にして柔軟に変更、見直しを行っています。幼児について特別な課題がある場合には週日案の書式の子どもの活動・配慮、個別配慮欄を使用しています。
- ④ 保育室内には、子どもが自由に手に取れるように、絵本が用意してあります。おもちゃ類は低年齢児クラスでは、安全面に留意しながら、職員が用意しています。幼児クラスでは、収納庫から職員が何種類かのおもちゃ、遊具を選んで用意したり、子どもが遊びたいと伝えたものを出しています。遊びの中で子ども同士のトラブルは、年齢や安全面に配慮しながら、見守ったり、仲立ちとなったり子ども同士で解決できるように援助しています。
- ⑤ 送迎時のやりとり、懇談会、個別面談、保育参加、園行事など保護者との交流の機会を設けています。全園児個別の連絡ノートがあり、エピソードなど伝えるようにしています。インターネットを活用し、ツイッター、ブログでも園や子どもの様子を伝えています。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 日々の関わりの中でその子どもが一番安心する職員から順次関係性を築いています。主任・フリー保育士・補助的な関わりの方の非常勤職員が随時サポートをしています。入園時に把握した生育歴を始め、入園後の子どもの成長発達記録は、児童票としてファイル（健康診断結果、身長体重測定記録など健康記録含む）しています。0～2歳児は毎月、3～5歳児は3ヶ月ごとに成長発達状況を確認、追加しています。記録内容は書庫に保管し、全職員が共有できるようにしています。進級時には、ファイルを基に、新旧の担任で申し送りを行っています。
- ② 職員は、発達支援、虐待、アレルギーといった配慮が必要な子どもについて研修で得た最新の情報を日々の保育に活かしています。毎月職員会議の中でケース会議を行い配慮点や関わり方が適切かどうか話し合っ、議事録に記録しています。大和市すくすく子育て課の臨床心理士巡回相談カンファレンスも行っています。
- ③ 意見箱、行事後の保護者アンケートなど意見や要望の把握に努めています。さらに職員は送迎時に保護者に積極的に声をかけ、要望を聞くように心がけています。寄せられた意見は「苦情報告書」ファイルに記録しています。クレームの内容だけでなく、対応方法や対策を記入して保管管理しており、今後に活かすこととしています。他機関の苦情解決窓口として神奈川県社会福祉運営適正化委員会の連絡先を「保育園利用案内」（入園・運営に関する重要事項）に明記しています。
- ④ 健康管理・衛生管理・安全管理に関する各マニュアルを整備し、マニュアルに基づいた対応や訓練を行っています。行政、医療機関、学校、市民団体などリスト化し、電話の短縮ダイヤルの登録をしています。

### 4. 地域との交流・連携

- ① 地域の子育てを支援するために、一時保育、交流保育、園舎開放、プレママ講座（妊婦対象）、離乳食講座、ベビーマッサージ教室などを開催しています。また出張講座のPRも行い、積極的に取り組んでいます。参加者からニーズの把握をしています。子どもたちは、園外活動時に出会う近隣の人々と自然に挨拶を交わしています。職員は道路掃除やゴミ拾い、園裏の森の掃除など積極的に行っています。
- ② 園のパンフレットは大和市のすくすく子育て課に常置しています。ホームページは写真を交え利用者が必要とする情報を分かりやすく発信しています。利用希望者の問い合わせには随時見学が可能であることを案内しています。見学の際は、子どもの活動の様子を見てほしいことと丁寧な対応を心がけているため、基本的に個別対応で午前中を勧めています。午後や土曜日でも可能とし、できる限り希望者の都合に合わせています。
- ③ 地域の環境に関する市民活動グループと森の散策や焼きイモ会など計画的に交流を図っています。絵本の読み聞かせや礼儀作法教室のボランティアの協力を得ています。毎回子どもたちの様子や成長ぶりを話し合い、保育の参考にもしています。

## 5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 事業運営に影響する情報の収集・分析は、運営法人で行っており、理事や評議員の専門家の意見を取り入れています。園長は運営法人の理事会に出席し、それらの情報を得て必要な情報は職員と共有しています。運営法人のホームページから現状報告、決算書を閲覧することができます。主任は毎日各クラスを回り、職員とのコミュニケーションを密に図りながら、職員個々の状況を把握し、勤務シフト表を作成しています。主任がムードメーカーとなり、相談しやすい環境を築いています。
- ② 職員の自己評価のためのチェックシートに基づいた自己評価や園の自己評価を計画的に行う仕組みのほか、福祉サービス第三者評価受審にあたり、常勤職員による自己評価および職員会議で園としての自己評価を行っています。話し合いを通じて園の課題を明確化し、改善に取り組んでいくこととしています。
- ③ 職員が守るべき法・規範・倫理などは、「就業規則」「新入社員マニュアル」に明記しており、入社時に周知しています。他施設の不正や不適切な事案については、大和市の園長会参加時に情報提供を受けたり、新聞などの話題を職員会議で議題として提供し、自園のルールを再確認しながらモラルアップを図っています。

## 6. 職員の資質向上の促進

- ① 毎年実習生を受け入れています。受け入れにあたっては、実習生や学校の意向を確認して、効果的な実習ができるようにプログラムを工夫しています。各担任との毎日の振り返り、実習ノートの添削のほか、最終日には園長、主任も交えた反省会をしています。
- ② 職員による年間・月間・週案の指導計画の実施結果に対する評価・反省、職員の中で自己の保育技術、保育内容を評価し、翌月の計画に反映、改善ができるようにしています。園長は可能な限り、主任・現場職員に権限を委譲しています。緊急時は担当職員が判断し対応しますが、対応処理についての最終的な結果責任は園長が負う体制になっています。園長は職員の満足度・要望などの把握に努め、いつでも相談に乗れる体制をとっています。
- ③ 給食の委託業者の栄養士とは食育活動で協力連携を図っています。大和市すくすく子育て課の臨床心理士巡回相談カンファレンスで話し合いをしています。運営法人の理事に元公立保育園園長、小学校長がおり、指導やアドバイスをすることができます。



## 分類別評価結果 (および理由)

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

### I 利用者本人の尊重

#### I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 子どもの主体性と地域に開かれた保育所としての役割を主旨とした保育理念を掲げています。保育方針は、「子どもたちが安心して安定した集団生活が送れるように、愛情と誠意を持った保育を目指します」ほか4項項目となっています。それらを踏まえ保育目標の「友達と一緒に元気に遊べる子」「やさしい思いやりのもてる子」「自分の思ったことや考えを表現できる子」を育むための保育園作りを全職員が理解し実践につなげるよう努めており、利用者本人を尊重したものになっています。
- ② 保育課程は、園の子どもの年齢ごとの発達に一貫性があるか、保護者の状況、地域の環境に即しているかなど、常勤職員で毎年見直しをしています。非常勤職員にも事前に意見を聞き、子どもの姿に合わせたものになるように話し合っています。
- ③ 保護者には入所前説明会で、園長が保育方針、目標に沿った園運営や園長としての思いを話しています。保育課程に基づいた各クラスの年間指導計画・月間指導計画への流れについては園長・主任も出席するクラス懇談会で担任が説明しています。
- ④ 保育課程に基づき、子どもが、何をしたいのか、どのように進めたいのかを見守りながら、必要なことは十分に説明し、子どもが納得して主体的に取り組むことを大切にされた年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。計画はあくまでも計画として柔軟性を持たせています。

#### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 入園前に主に園長・主任・担任予定職員が親子面接を行い、子どもの様子や親子の雰囲気などを観察しています。面接時には児童票に基づいて聞き取りをしています。提出書類で得た情報や面談時の所感記録を基に、食事、睡眠、排泄などはすぐに保育に反映し、園生活を無理なく始められるようにしています。年度始めの1ヶ月くらいは児童票を事務室の机に常置することで全職員が子どもの状況を把握・確認がすぐに行えるようにしています。
- ② 日々の関わりの中でその子どもが一番安心する職員から順次関係性を築くことでゆるやかな担当制としています。在園児の配慮も含め、主任・フリー保育士・補助的な関わりの方非常勤職員が随時サポートをしています。
- ③ クラス担任同士で指導計画の練り直しなどを行っています。職員会議・乳児会議・幼児会議で子どもの発達状況を話し合い、必要に応じて園長・主任が助言をしています。個人面談、懇談会、アンケートなどで寄せられた保護者の意向や意見を計画に取り入れるようにしています。

### I-3 快適な施設環境の確保



- ① 清掃に関し、保育室は担任が、トイレは当番を決めて行っています。廊下や階段など共有部分は園長・主任が行っています。いずれも衛生マニュアルに基づいて清掃し、清潔に保たれています。空気清浄機の設置、床暖房（0、1歳児保育室）、24時間空調のほか窓を開けての適宜の換気など過ごしやすい環境づくりに配慮しています。陽光が眩しすぎる時はロールカーテンで調整しています。
- ② 低年齢児の保育室はカーペット、低い衝立、手作りの仕切りなど小集団で落ち着いて活動や遊びができるようにしています。幼児は食事と午睡の場所は同じですがスペースが確保できています。0、1歳児保育室、3～5歳児保育室はオープンフロアを仕切って使用しています。保育内容によっては、3～5歳児クラスを仕切る棚を取り払い、全員で広く活動できるようにしています。一時保育室も活用しています。
- ③ 気密性が高い園の構造上の理由やオープンフロアでの保育のため、職員の声や音楽など響きやすい傾向が認められます。不必要に大きな声や音量になっていないか、職員同士確認し合うことが期待されます。

### I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ① 0～2歳児クラスは全員個別指導計画を作成しています。個別の指導計画は担任が作成し、個別の課題がある場合は職員会議・乳児会議・幼児会議で共通事項として話し合い、ほかの職員からの意見も参考にして柔軟に変更、見直しを行っています。幼児について特別な課題がある場合には週日案の書式の子どもの活動・配慮、個別配慮欄を使用しています。保護者には離乳食の進め方やトイレトレーニングなど子どもの状況に合わせて説明し、同意を得ています。
- ② 入園時に把握した生育歴を始め、入園後の子どもの成長発達記録は、児童票にファイル（健康診断結果、身長体重測定記録など健康記録含む）しています。0～2歳児は毎月、3～5歳児は3ヶ月ごとに成長発達状況を確認、追加しています。記録内容は書庫に保管し、全職員が共有できるようにしています。年長児の就学する小学校に保育所児童保育要録を持参あるいは郵送しています。進級時には、ファイルを基に、新旧の担任で申し送りを行っています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① エレベーター、バリアフリー対応設備（多目的トイレ・段差フリー・点字ブロック）など障害のある子どものための環境整備をしています。障害に応じて大和市すくすく子育て課の発達支援担当の巡回指導などアドバイスを得ることができます。子どもたちは障害のあるなしに関わらず、自然な関係を築いています。職員の支援を受けながらクラスの一員として過ごしています。しかし、個別の支援計画の作成はなく、日誌での記載や他の幼児同様4期ごとの成長発達の記録となっています。子どものよりよい発達をめざした適切な対応のため、個別の指導計画の作成が急がれます。
- ② 虐待が明白になった場合や疑われる場合は、県の児童相談所や大和市すくすく子育て課に相談できる体制を整えています。園長が大和市要保護児童対策地域協議会のメンバーとして活動していた経緯もあり、迅速な連絡・対応策相談が行えます。また、支援の必要な保護者の置かれている状況や状態を理解し、こまめに声をかけたり、見守りを続けています。
- ③ 保護者からアレルギーについての情報を得て、「保育におけるアレルギー疾患生活管理指導票」を提出してもらい、それに沿って適切に対応しています。外部研修で得たアレルギー全般に対す

る知識や対応は職員間で周知共有しています。食物アレルギーのある子どもの食事は専用のトレイを用意し、机を別にしています。ネームプレートもつけ、配膳ミスのないようにしています。職員が傍らにつき見守りや援助をしています。

- ④ 保護者が外国籍で子育て方針など文化の違いを含め、入園の際、園での生活を理解してもらえるまで分かりやすく説明する体制を整えています。配付物を渡す際は、口頭で説明したりふりがなをふるなど対応しています。さらに行政に提出する書類作成のサポートや大和市の外国語通訳センターの紹介をしています。

#### I-6 苦情解決体制



- ① 要望、苦情受付の担当者は主任、解決責任者は園長としています。第三者委員2名の氏名、連絡先と神奈川県社会福祉運営適正化委員会の連絡先を「保育園利用案内」（入園・運営に関する重要事項）に明記しています。第三者委員については玄関にも掲示しています。
- ② 玄関にご意見ボックス、個人面談、懇談会、行事後に保護者アンケートを行い、意見や要望の把握に努めています。さらに職員は送迎時に保護者に積極的に声をかけ、要望を聞くように心がけ、気づいたことは園長・主任に直ちに報告しています。園のみで解決できない場合は、第三者委員や大和市と連携して対応することとしています。
- ③ 過去の苦情・トラブルは「苦情報告書」ファイルに記録として残しています。クレームの内容だけでなく、対応方法や対策を記入して保管管理しており、今後に活かすこととしています。

## Ⅱ サービスの実施内容

### Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 保育室内には、子どもが自由に手に取れるように、絵本が用意してあります。おもちゃ類は低年齢児クラスでは、安全面に留意しながら、職員が用意しています。幼児クラスでは、収納庫から職員が何種類かのおもちゃ、遊具を取り出したり、子どもが遊びたいと伝えたものを出しています。子どもが取り出せるような場所、棚などに、おもちゃ類、教材類などを用意したり、コーナー遊びの場をつくるなど、自由に遊べるような環境設定の工夫が期待されます。
- ② 子どもが自由に発想して、ごっこ遊びや集団遊びにつながるように支援しています。運動会や発表会の出し物の、振り付けやセリフを自分達で考えることもしています。また低年齢児クラスから、順番やルールを守り、楽しく遊べるようお互いの気持ちも考えられるよう職員が声掛けをしています。
- ③ ナス、トマト、キュウリ、ピーマンなどを栽培しています。近隣の畑で芋ほり体験をしています。芋ほりは畑周辺の住民や子どもにも声掛けし、交流の機会ともなっています。収穫した野菜は、調理に利用したり、絵に描いたりしています。園内では、カメの飼育もしています。園周辺の、サイクリングロード脇の川で、鴨や魚を観察したりもしています。園の裏は、奥深くまで自然の森が続いており、散歩時や環境に関する市民活動グループと一緒に活動などで、昆虫や植物と親しんでいます。
- ④ 個人用の自由画帳、筆記用具、粘土などや、画用紙、廃材（トイレットペーパーの芯、段ボール、新聞紙、毛糸など）を準備し、自由に製作できるようにしています。自分の描きかけの絵や製作途中のものは、個人の荷物入れスペースに置いておき、あとで続きを描いています。木琴、マラカス、鈴などで音楽を楽しんだり、CDを職員にかけてもらい、体を動かしたりしています。
- ⑤ 遊びの中での子ども同士のトラブルは、年齢や安全面に配慮しながら、見守ったり、仲立ちとなったりしています。双方の話を聞き、相手の気持ちも考えられるように、また子ども同士で解決できるように援助しています。
- ⑥ 屋上園庭や、テラスで遊んだり、周囲のさまざまな公園に出かけています。自然探索、アスレチック、広い所で身体を動かして遊ぶなど目的に応じて、行き先を決めています。屋上でのプール遊びには、日除けのパラソルを立てています。外出時は帽子を着用し、森への散歩時は、長袖着用として、虫よけも準備しています。室内では、マット、巧技台、跳び箱などを利用したり、乳児クラスは、ハイハイしながら階段を上る、テラス（人工芝）で遊ぶなどしています。毎朝、館内放送により全クラスでリズム体操を行っています。何種類か曲があり、その曲が流れると、歌や掛け声も入れながら、楽しく行っています。体調がすぐれない時や、戸外活動を控える場合には、室内で静かに過ごすよう個別に対応しています。

### Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 食事は子どものペースや、食べられる量を把握し、マナーも守りながら皆で一緒に楽しく食べるように職員が声掛け・援助をしています。「食育計画」に基づいて野菜を栽培収穫、トウモロコシや空豆の皮むき、芋ほりで収穫したさつまいもでスイートポテトを作る、おもちゃのあとの、味付け（小豆、きなこ、納豆、大根）をするなど、調理の過程を楽しんでいます。また、「リクエスト給食」では、各クラスで話し合った好きなメニュー（カレーから揚げ付き、豚の角煮、ビーフシチューなど）の提供があり、子どもたちは楽しみにしています。

- ② 給食の食材は決まった業者から毎日搬入され、安全性の高い、なるべく国産のものを使用しています。季節や行事に合わせたメニューや盛り付けが工夫されています。食器は年齢に応じて、大きさや深さの違うもの、またプラスチック製品や磁器を使っています。日常的に使用する食器等は劣化や破損等の可能性を考慮し、使用前の点検等の実施が期待されます。
- ③ 職員は子どもたちと一緒に、同じテーブルで食事をし、喫食状況を確認しています。調理担当職員が、食事をクラスまで運び、下膳も行っており、クラス担当職員と毎日喫食状況を確認しています。また、調理担当職員は新しく入園した子や、食物アレルギーのある子の場合には、頻繁に食事の様子を見に来ています。月に一度の給食会議で味付けや、嗜好などの話し合いをしています。
- ④ 毎月 25 日前後に翌月の献立表を保護者に配付しています。献立表に季節の行事食や食品の栄養についてなどの情報を載せています。給食、おやつサンプルは衛生面やお迎えの遅い保護者にも配慮し写真掲示をしています。現在料理レシピの提供や保護者対象の試食会は行っていません。今後は人気メニューのレシピを持ち帰れるようにするなどの工夫が期待されます。
- ⑤ 眠れない子どもには無理強いせず、身体を横にして休息するように伝えています。午睡時のプレスチェックは 0 歳児 5 分おき、1 歳児は 10 分おきに行い「健康管理票」に記録しています。5 歳児は 12 月より午睡回数を減らしていき、1 月から午睡を一斉活動としないで、就学に向けて生活リズムを整えるようにしています。トイレトレーニングは一人一人の発達状況を把握し、保護者と連携しながら進め、子どもへの負担がないように心がけています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 健康に関するマニュアルがあります。入園時に得た情報は「児童票」に記入し、年度末には新しいシートを保護者に渡し、記入してもらい、子どもの健康状態や予防接種などの情報更新をしています。日常の健康状況の確認等は、全クラス個人の連絡ノートを使用し、保護者とやりとりしています。歯みがきは 1 歳後半から始め仕上げ磨きは 5 歳児まで行っています。
- ② 健康診断は年 2 回、歯科検診は年 2 回実施しています。健診結果、毎月の身体測定の記録は「健康診断表」「歯科診断表」「成長記録」に記載し、一人一人のファイルにまとめています。
- ③ 感染症マニュアルがあります。登園に「医師の意見書が必要な疾病」「当園許可書が必要な疾病」について「保育園利用案内（入園・運営に関する重要事項）」に記載し、入園説明会・年度初めの懇談会で保護者に説明しています。感染症発生時には速やかに園内に掲示し情報提供しています。最新情報は神奈川県感染症情報センターからファクスが届いています。近隣の小学校区の保護者や職員からの情報も合わせ、職員間で情報共有しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 衛生管理のマニュアルがあり、全職員に配付しています。入職時に説明を受け職員会議で読み合わせをすることにより、見直しの機会としています。
- ② 保育室、備品、共有部分、玄関、園周辺など行き届いた清潔な状態が保たれていますが、清掃チェック表などで確認できる仕組みも期待されます。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 安全管理に関するマニュアルがあり全職員に配布され、常に確認できるようになっています。地震に備え、収納庫作り付け、低い棚やロッカーはストッパーや転倒防止シートを使用しています。「緊急地震速報器」を数台設置しています。
- ② 緊急連絡体制があり、緊急連絡先リストが事務室に用意されています。また緊急連絡先は電話登録しています。年間計画に基づき、毎月設定を変え、避難訓練を行っています。職員に知らせず、抜き打ちで実施することもあり、迅速に行動できるようにしています。災害があり、ものが壊れた場合を仮定し、卵の殻や積み木など床にまき、その上を裸足で歩いてみるなど子どもへの防災教育も行っています。救急救命法を身に付けた職員が10名ほどいます。
- ③ ケガについては、軽傷でも保護者へクラス担当職員あるいは、対応した職員が必ず直接報告、説明をしています。「視診表」「事故報告書」職員ノート」に記録し、職員会議、緊急ミーティング、で話し合いや検討を行っています。
- ④ 門扉・園玄関は電子錠で施錠されており、保護者はカードキーを持っています。来訪者をインターホンで確認後に開けようとしており防犯カメラ3台を設置しています。不審者対応については、訓練を行うほか、暗号も決めてあり、迅速に対応できるようにしています。近くに交番があるため、直接に警察につながる通報装置を設置しています。近隣の交番の巡回があるほか、不審者情報や防犯情報は大和市保育課からファクスで届き、「やまとPSメール」も活用しています。

## II-3 人権の尊重



- ① 子どもの人格を尊重した言葉かけ、対応について日常の保育で職員の気になる言動や対応が見られた場合は園長・主任が注意や指導をしています。
- ② 友だちや職員の視線を気にせず過ごせる空間として、段ボールの仕切りを使ったり、椅子を反対側に向けるなど工夫しています。子どもと一対一で話し合える場所として、一時保育室、子育て支援室、踊り場奥の小スペースなどを利用しています。
- ③ 個人情報取り扱いに関するガイドラインがあります。個人情報に関する記録、書類は事務所内の施錠できる書棚に保管管理しています。書類は、園長、主任に了解を得て、事務室或いは保育室で閲覧、記録記入をし、園外持ち出しは禁止しています。パソコン上の記録類については、事務職員と主任が管理し、パスワードを設定しています。USBメモリ使用時は必ず空にして戻し、持ち出しは禁止しています。保護者にはホームページなどへ写真掲載をしてよいかを確認しています。保護者が行事などで撮影した写真や動画をインターネットなどへ投稿することは配慮してもらいをお願いを伝えています。また小学校や緊急時医療機関への個人情報を提供する旨の説明と同意書ももらっています。
- ④ 遊びや行事役割で男女区別はしていません。便宜上、順番やグループ分けを男女で行っているケースがあります。今後も無意識に性差による固定観念で保育をしていないか振り返る機会が増えることが期待されます。

## II-4 保護者との交流・連携



- ① 入園時の面接やクラス懇談会で、保護者に保育の基本方針や目標などを説明しています。園だよりの配付や行事アンケートや・年度末アンケートを実施していますが、保育方針が理解されているかの把握を充分しているには至っていません。さらなる工夫が期待されます。

- ② 保護者との日常の情報交換は全クラス個別連絡ノートを使用しています。その日の子どものエピソードを伝えるよう努めています。保護者との個人面談は年1回実施しています。クラス懇談会は年2回開催し、クラスの様子を伝えています。保護者からの相談は、子育て支援室で行いプライバシーに配慮しています。相談内容は、園長、主任に報告し、職員会議等で情報共有し、継続的に対応しています。
- ③ 毎月、園だより、クラスだより、献立表を配付しています。一日の保育の様子は、園玄関のホワイトボードに今日やったことや連絡事項を書いて掲示したり、インターネットを活用し、ツイッター、ブログでも伝えています。クラス内などに掲示やノートなどで、その日の様子を知らせ、保護者同士や職員と共有できるような工夫も期待されます。
- ④ 初めに年間行事予定を保護者に配付しています。毎月配付の園だよりでも行事案内をしています。保育参観・参加は予約にて随時受け付けています。保育参加は「保育士体験」として園だよりでも呼びかけています。保護者組織は現在ありませんが、保護者有志の活動など要望があれば、場所の提供や協力をする体制になっています。

## Ⅲ 地域支援機能

### Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 地域の子育て支援としての保育園開放、一時保育、育児相談、交流保育、大和市主催の大和子育てフェスタなどから、子育て支援のニーズを把握しています。大和市認可保育園園長会議、合同園長会議、幼保小連絡会議、神奈川県社会福祉協議会の会議、大和市子育てフェスタの打ち合わせ会、大和市要保護児童対策地域協議会会議などに、担当者が出席し、情報を得ています。
- ② 地域の子育てを支援するために、一時保育、交流保育、園舎開放、プレママ講座（妊娠している女性対象）、離乳食講座、ベビーマッサージ教室などを開催しています。また出張講座のPRも行い、積極的に取り組んでいます。

### Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 園のホームページ、「やまと子育て情報こころひろば」に情報を載せています。子育て支援事業案内「ほっぺのおたより」に日程、内容を載せています。園情報の資料を大和市保育課のブースに置いています。育児相談受付は大和市の指示により随時行っています。園の案内やお知らせを地域に回覧しています。地域の店や自治会などとは少し離れた場所にあるため、掲示などのお願いは実現出来ていません。子育て支援資料（園開放等のお知らせ）を行政の窓口や円のホームページなどで知らせています。園から出向き、育児相談などの地域支援は行っていません。
- ② 地域の関係機関、団体、学校などのリストがあり、電話にも登録してあります。関係機関の連絡連携は園長と主任が担当しています。大和市保育課、すくすく子育て課、神奈川県児童相談所などと連携がとれています。子育て支援の資料を行政の窓口やホームページで案内しています。



## IV 開かれた運営

### IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 地域の環境に関するボランティア団体と森の散策や焼きイモ会など計画的に交流を図っています。その他、大和市主催のやまと子育て応援フェスタややまとげんきっ子アートの打ち合わせ会議で地域の団体や機関と関わりを持っています
- ② 中学校2校の体験学習を受け入れ、学生は子どもたちと交流をしたり、赤ちゃんの人形を抱っこし感覚を実感したり、おむつ替えなど経験してもらっています。老人福祉施設訪問では、子どもたちが歌や体操を披露しています。大和保健福祉センターで他園児と合同リズムを楽しんでいます。
- ③ 子どもたちは、園外活動時に会う近隣の人々と自然に挨拶を交わしています。職員は道路掃除やゴミ拾い、園裏の森の掃除など積極的に行っています。

### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 園のパンフレットは大和市のすくすく子育て課に常置しています。ホームページは写真を交え利用者が必要とする情報を分かりやすく発信しています。外部の情報媒体として社会福祉協議会主催の大和子育て情報「こころひろば」にも園の情報を載せています。
- ② 利用希望者の問い合わせには、パンフレットに基づいて主に主任が対応しています。利用希望者には、随時見学が可能であることを案内しています。見学の際は、子どもの活動の様子を見てほしいことと丁寧な対応を心がけているため、基本的に個別対応で午前中を勧めています。午後や土曜日でも可能とし、できる限り希望者の都合に合わせています。

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 絵本の読み聞かせや礼儀作法教室のボランティアの協力を得ています。記録を残してはませんが、毎回子どもたちの様子や成長ぶりを話し合い、保育の参考にもしています。
- ② 毎年実習生を受け入れています。受け入れにあたっては、主任が担当し、実習生や学校の意向を確認して、効果的な実習ができるようにプログラムを工夫しています。実習途中には学校側の職員が来園し、実習の進み具合など経過を確認しています。各担任との毎日の振り返り、実習ノートの添削のほか、最終日には園長、主任も交えた反省会を行い意見交換をしています。

## V 人材育成・援助技術の向上

### V-1 職員の人材育成



- ① 園長は園運営に必要な人材や配置状況を把握し、不足の場合は運営法人内の他園と連携を図りながら人材補充を行っています。運営法人としての理念方針に適合した人材を育成するための計画や、個々の職員の目標の達成度評価する仕組みについて確認ができませんでした。今後の検討が期待されます。
- ② 運営法人内保育園3園合同の救急救命講習を毎年開催しています。その他大和市や大学主催の子どもの育ちと脳の発達、障がい児など外部研修に積極的に参加しています。今年度主任が「怒鳴らない保育」の研修を受講し、園でも実践していくこととしています。研修報告書は職員会議で発表され、全職員回覧して、情報共有しています。園内研修も、園規則及び新制度について、乳幼児突然死症候群などテーマを決め実施しています。
- ③ 新入社員マニュアルは全職員に配付しています。研修は内部、外部を問わず非常勤職員も参加することができます。非常勤職員は保育の補助や配慮が必要な子どもに関わっています。経験の浅い常勤職員をサポートできる非常勤職員もいます。

### V-2 職員の技術の向上



- ① 職員による年間・月間・週案の指導計画の実施結果に対する評価・反省、および職員の自己評価のためのチェックシートに基づいた自己評価や園の自己評価を計画的に行う仕組みになっています。
- ② 給食の委託業者の栄養士とは食育活動で協力連携を図っています。大和市すくすく子育て課の臨床心理士巡回相談カンファレンスで話し合いをしています。運営法人の理事に元公立保育園園長、小学校長がおり、指導やアドバイスをすることができます。
- ③ 福祉サービス第三者評価受審にあたり、常勤職員による自己評価および職員会議で園としての自己評価を行っています。話し合いを通じて園の課題を明確化し、改善に取り組んでいくこととしています。結果として良い点、課題が明らかになってきました。第三者評価結果は、大和市のホームページで公表されますが、園としての自己評価の公表が期待されます。

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 「業務分担票」により担当毎に職務内容が明確になっており、職員は役割を認識して保育を行っています。しかし経験・能力や習熟度に応じた職員レベル（期待水準や責任等）を明文化していません。職員が目標とする職員像をレベルごとに示すとともに、業務改善の提案を募るなどしてやりがいや満足度につなげることが期待されます。
- ② 園長は可能な限り、主任・現場職員に権限を委譲しています。緊急時は担当職員が判断し対応しますが、対応処理についての最終的な結果責任は園長が負う体制になっています。
- ③ 園長は職員の改善提案や意見を職員会議や日常会話の中で把握し、いつでも職員と個別に話ができる環境を整えています。さらに年に1回以上個別面談を行い、職員の希望・要望や満足度を聞いています。

## VI 経営管理

### VI-1 経営における社会的責任



- ① 職員が守るべき法・規範・倫理などは、「就業規則」「新入社員マニュアル」に明記しており、入職時に周知しています。他施設の不正や不適切な事案については、大和市の園長会参加時に情報提供を受けたり、新聞などの話題を職員会議で議題として提供し、自園のルールを再確認しながらモラルアップを図っています。
- ② 運営法人のホームページに現状報告、決算書を公開して閲覧することができるようになっています。環境への考え方、取り組みについては明文化していません。
- ③ ごみは分別して地域リサイクルに出しています。環境を考慮してオール電化の設備を入れて、照明の節電を行っています。また、排水を浄化するドラムを設置しており地球環境に配慮しています。

### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 園の理念や基本方針を明文化した「新入社員マニュアル」を全職員に配付して、理念にも続いた保育を実施しています。
- ② 園行事だけでなく日常の保育についても業務委託業者の栄養士、事務職員など関係者に意見を聞き、協力をしながら決定や改善に取り組んでいます。
- ③ 主任クラスの職員のスーパーバイザー育成プログラムは確認ができませんでした。主任は大和市など外部のリーダー研修に参加してスキルアップを図っています。主任は毎日各クラスを回り、職員とのコミュニケーションを密に図りながら、職員個々の状況を把握し、勤務シフト表を作成しています。主任がムードメーカーとなり、相談しやすい環境を築いています。

### VI-3 効率的な運営



- ① 事業運営に影響する情報の収集・分析は、運営法人で行っており、理事や評議員の専門家の意見を取り入れています。園長は運営法人の理事会に出席し、それらの情報を得て必要な情報は職員と共有しています。
- ② 単年度の事業計画書を作成し、結果を事業報告しています。3年から5年先を考えた中長期計画は作成しておりません。園長は、園の運営状況を分析し、改善が必要と思われる課題については検討をしています。これらに基づき園に重要な方向性を定め、運営をしていくために、中長期的な視野に基づいた計画を作成し関係者と共有することが期待されます。

## 利用者本人調査

### 調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス： 6名	1歳児クラス： 12名	2歳児クラス： 12名
3歳児クラス： 12名	4歳児クラス： 12名	5歳児クラス： 12名

### 調査概要

#### 《0歳児クラス》

##### 遊び

子どもたちは保育室の中央に集まってはめ込み式のパズルや音の出るおもちゃや大きめのブロックで遊んでいます。おもちゃを取ろうとする子どもに「○○ちゃん、かしてっていおうね」と職員が注意をすると「あい」とうなずきます。次の活動を待つ間「お壁ぺったんだよ」と職員が伝えると、自分でとことこと歩いて壁の前にちょこんと座ります。「上手にすわれたね～」と職員はすぐほめています。手遊びでは、たどたどしい言葉で歌いながら「パンチ」のポーズをとったり、最後はみんな「わん！」と揃えます。子どもたちはこの手遊びがお気に入りです。次は新聞紙をびりびり破いたり、びりびりの新聞紙を雪のように降らせたり、新聞紙を何枚も暖簾のようにしてさげにくぐったり、バンバンとたたいたり盛りが上がっています。1歳児クラスの体操遊びの音楽に誘われるように数人の子どもがクラスを仕切る低い柵の間から少し大きなお姉さんお兄さんの様子を見えています。

##### 給食

みんな一緒にテーブルで、子どもたちはスプーン、フォーク、時には手づかみで食べていますが、職員が子どもの間に座り、援助しています。子どもたちが自分でフォークやスプーンで食べている様子を見て職員は「わ～、上手だね～」「○○くん、スプーン上手になったね」と職員も嬉しそうです。インゲンが苦手な上手く飲み込めずプレートに戻してしまった子どもには、調理室に行って食べやすくインゲンを小さく切った新しいものを用意しています。調理担当職員も保育室に来て、その子どもの様子を見えています。少し食べるスピードが遅くなった子どもには「○○ちゃん、ねむいね～。あともう少し頑張ってみようか」と声をかけ、一口スプーンで口に運んでいます。食事が終わると、職員に手と口を拭いてもらって、お茶を飲み、手をパッチンしてごちそうさまです。まだおしゃべりが上手くできない子どもは「た！」だけ元気に挨拶です。

##### 午睡

子どもは職員に着替えをもらおうと布団の場所にいる職員に渡して、着替えさせてもらっています。「おやすみ」と職員がきゅっと抱きしめ、布団に入ります。別の場所でおむつを替えてもらおう子どもは、ニコニコして職員の頭をいい子いい子しています。職員も「ありがとう」を返します。子どもは職員にトントンしてもらったり、さすってもらったりして眠りに入っています。

## 《1 歳児クラス》

### 遊び

巧技台の上を一人ずつ順番にバランスを取りながら歩いています。そろそろと慎重に歩く子ども、グラグラしてしまい上手く進まない子ども、比較的テンポよく歩ける子どもとさまざまです。無事歩き終わると職員から「上手上手」とほめてもらっています。子どもがマットに寝転ぶと、職員が「どんぐりころころ・・・」と歌い、それに合わせて子どもはコロコロ転がります。少し元気のない子どもには職員が熱を計って様子を確認しています。アニメ映画の曲に合わせた体操では盛り上がり、職員は「もう一回やる？」と子どもたちに聞いています。

### 給食

手をパチンと合わせて「いただきます」をして食べ始めます。「せんせい、ここ？」と援助に入る職員に子どもがニコニコと聞いています。「そうだよ」と職員も笑顔で返します。食べ慣れていないようで口に入れるのをためらっている様子の子どもの中には「これコンブだよ。おいしいから食べてごらん」と促しています。一口食べると「おいしい」と満足そうな表情です。

## 《2 歳児クラス》

### 遊び

お化け迷路で楽しんでいます。椅子や机、縄跳び、段ボールで迷路を作り、保育室を暗くしています。保育室内では脅かす係の子どもたちがタオルやお面でスタンバイしています。「みんな、大きな声でわーっと言っておどかさうね」と職員も張り切っています。保育室の外では準備が整うのを待っています。「中真っ暗だけど、みんなで〇〇先生助けてあげなくちゃね」と職員が話しかけると、「ぼくね、かっこいいところ見したげる」と強気な発言が出ます。「もういーかい？」「まーだだよ」「もういーかい？」「もーいーよ」の合図で子どもたちは恐る恐る入っていきます。

### 給食

フォークの用意もありますが、子どもたちは箸を上手に使っています。「〇〇ちゃん、おはし上手だからごはんも大丈夫だと思うよ。でも、疲れたらフォークでもいいよ」「おさらピカピカでかっこいいね。ごはんも頑張る」と子ども様子を確認しながら職員は声をかけています。「僕ね、なんでも食べるよ」「ほら見て。ピカピカだよ」と子どもたちは調査員に自慢げにアピールをします。

### 午睡前

椅子に座って自分で歯磨きをし、職員に仕上げ磨きをしてもらっています。「ちゃんと磨いたから、もう虫歯いないよ」と調査員に大きく口を開けて見せてくれます。トイレを済ませる（職員を呼んで後始末をしてもらう子どももいます）と自分で着替え袋を持ってきて自分の布団で着替え、布団に入ります。

## 《3 歳児クラス》

### 一斉活動

一斉活動で折り紙を折っています。独楽を折っているようです。それぞれ好きな色を選んで、職員が折り方を実際にやって見せ、説明しながら、子どもが折って行きます。「この三角のところを、自分の指で、さしてみてください。できたかな。そこの所を折り上げます」「えー、こう?」「うまくできない」との声に、職員がゆっくり説明したり、友だちが「こうだよ、こうやるんだよ」と教え合ったりしています。少し複雑になってきても、皆一生懸命チャレンジしています。「ちょっと、むずかしなと思うお友だちはいますか、先生と一緒にやりましょう」と職員が声掛けしていました。友だち同士のおしゃべりが目立って来て、クラス内がざわざわしだすと、「ここで、ちょっと手を上にあげて、のびをしましょう」と職員が呼びかけ、2回繰り返すと、また、子どもたちは、折り紙に集中し始めました。

### 遊び（一斉活動の後）

職員が収納庫から人形セットのおもちゃ一式を取り出して、マットの上に置きました。子どもたちは、人形を抱いたり、布団に寝かせたり、靴下をはかせたり、ミルクをやる真似をしたりしています。おんぶ紐で、器用に自分で人形をおんぶする子どももいます。「赤ちゃん、病気になっちゃってー」「ここは病院です、名前呼びます」「ケガしちゃってー」「泣いてるからここに寝かしませよう」など何人かで、一緒に遊ぶ様子も見られます。職員を赤ちゃんに見立てて、何人も次々に哺乳瓶でミルクを飲ませたり、寝かしつけようとしていたりしています。人形は全員分はないようですが、取り合いやトラブルは見られませんでした。職員が「はい、時計みてください。今は長い針が○のところですが、▽になったら、お片づけはじめましょう。先生も、気をつけますが、▽になったら、教えてね」と声掛けしていました。しばらくして、「▽になったよ」と子どもが言うと、皆、一斉に片づけを始めました。

### 排泄

トイレには、活動の切れ目に行くほか、自由に行っています。職員に声掛けしてから保育室ドア近くで上履きを脱ぎ、キッチンと並べておいてからトイレに行きます。時々、職員が様子を見に行き、確認しています。

### 給食

机に、一人用のシートを敷いています。シートには、おつゆ、ごはん、おかず、はしのイラストが描いてあり、食器をその上に乗せるようになっています。職員が各テーブルをまわり「おいしく食べてますか」「おしゃべりばかりしないで、おかずも食べよう」など、声掛けをしています。子どもたちは色々な話をしながら、にぎやかに食事をしています。

## 《4 歳児クラス》

### 一斉活動～その後の様子

紙で折ったサイフ（すでに出来上がっているもの）に、それぞれ好きな模様や絵を、色鉛筆で描いています。細かい模様を丹念に描いている子どもや、すきな絵を描いている子ども、さまざまです。「きれいだね」「何かいたの?」「すごい」「みてみて」「やったね。うまいねー」「開くと、ぞうさんの顔なんだね」など、職員と話しながら続いています。描き終わった子から自分で色鉛筆を片づけ、絵本を持って来て自分の席で読み始めます。製作している子が数人に減ると、場所を移動し製作に集中できるようにしていました。時間がかかっている子にも、あわてさせたり、せかしたりはしていません。

### 遊び（一斉活動の後）

職員がマットを敷き、収納庫からままごとセットを持って来て準備します。ちゃぶ台や小さい机もならべました。「おままごとする時に上履きは?」と職員が聞くと「脱ぎます」と子どもたち。「皆で相談しながら、使ってね」と声掛けしていました。料理を作る役や、ちゃぶ台にいる友だちに、できた料理を運ぶ役、注文する役など自然にでき、楽しんでいきます。「これは、さんまかな」「じゃあ、だいこんおろしがいるね。僕作ってくる」と、だいこんをおろす真似（網をおろし器に見立てて）をしている子どももいます。「おにぎりどうぞ。半分ずつにして食べてね」「食べ終わったらもどしてね」などにぎやかです。ままごとに興味がないのか、遊びに加わらずぐるぐる見て回っているだけの子どももいますが、職員は無理に誘ったりはせず、自然に過ごしています。

### 排泄

自由に行っています。職員に声掛けし、上履きは脱いで保育室の壁際に並べてからトイレに行きます。職員は時々見守りをしています。

### 食事～午睡準備

友だちと話をしたりしながら食べています。「おいしいから、たくさん食べてね」と調査員に声掛けしてくれます。「食べ終わったら歯磨きだよ。歯ブラシ持ってきた?」と聞かれ「今日はね、忘れちゃった」と答えると、「そうなの。忘れたならいいんだよ」

食事がすむと、自分の食器は全部、重ねます。「戻すのは、混むから順番に行くんだよ」と教えてくれます。テーブルごとに下膳しますが、重ねた食器を下膳台に持って行き、そこで同じ種類の食器ごとに置きなおして片づけています。帰りにコップと歯ブラシを持って自分の席に戻り、歯磨きをしています。うがいをした後はパジャマの入った袋を自分で取り出し、すでに敷かれている自分の布団の位置で着替えをします。

## 《5 歳児クラス》

### 一斉活動

折り紙で製作をしています。「お正月遊び何したかな。この間みんなで福笑いしたね。他に何かある?」「羽根つき」「独楽」「たこあげ」と声が上がります。「たこあげもあるね。今日は折り紙でたこを作ってみようと思います。やっこだこっていの」と折り紙で作ったたこを皆に見せています。「やっこさん って折ったことあるかな。皆でやってみましょう。折り紙の好きな色を選んでください」何種類か、用意してある折り紙から、子どもが選んでいました。折り方を説明の時は子どもは一生懸命見えています。なかなかうまく折れない子どもには職員が何回も説明したり、一緒に折っています。友だちに教えてもらっている子どももいます。「ピンクの画用紙に、たこと、獅子舞と、絵馬をはります。どこに貼るか場所も良く考えてね。あとで、絵馬にねがいごとやみんなののぞみを書きますから、あとで教えてください」と説明していました。

### 当番活動

当番が箸など机をまわり配っています。座って待っている子どもに「お口はチャックで待っていきましょうね」と職員が声掛けしていました。順番に、ごはんや、おかずも配っています。「お茶を置く場所も考えて、配ってね」と言われると、場所を置きなおしたり直したりしていました。



## 家族アンケート結果

### アンケートの概要

#### 1. 調査対象

利用者の全家族

#### 2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

#### 3. アンケート発送数等

発送数：	53 通	返送数：	33 通	回収率：	62%
クラス：	0歳児： 6 通	1歳児：	6 通	2歳児：	4 通
	3歳児： 6 通	4歳児：	4 通	5歳児：	7 通

#### 4. 全体をとおして

家族からのアンケートは総合的な評価では「満足」46%、「どちらかといえば満足」36%で回答家族の82%が保育園を評価をしています。

全体の傾向としては、全体的に「満足」が多い状況で、中でも「日常の保育内容について」では高い満足度となっています。

個別の項目については、「基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組み」は76%、「自然位触れたり地域に関するなどの園外活動」は73%が「満足」が占め、「どちらかといえば満足」を含めると両者とも97%となっております。

多くの家族が「満足」と回答する一方で、一部には「不満」と答える項目もあります。「不満」では、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど」は24%、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」では21%となっております。

自由記述の意見・要望欄にも、多くの保育への感謝の意見の他に、「出勤日の変更時の提出物」「兄弟のどちらかが休んだ際に他の子どもを預かってほしい」などの要望もあります。

質問項目にある「この園の保育目標・保育方針をご存知ですか」では「良く知っている」9%、「まあ知っている」49%であり、この知っている家族の100%が賛同（「賛同できる」59%、「まあ賛同できる」41%）となっています。

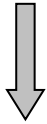
賛同を得ている保育目標などを伝える工夫を行い、家族と保育園の協力により、更に満足度の高い保育園となることが期待されます。

□ アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
9.1%	48.5%	21.2%	15.2%	6.1%	0.0%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	42.4%	27.3%	3.0%	0.0%	27.3%	0.0%
その他: 見学していない、知らない						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42.4%	39.4%	12.1%	0.0%	3.0%	3.0%
その他: 知らない						
園の目標や方針についての説明には	36.4%	45.5%	6.1%	0.0%	12.1%	0.0%
その他: 知らない						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	36.4%	45.5%	6.1%	0.0%	12.1%	0.0%
その他:						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	45.5%	33.3%	12.1%	6.1%	3.0%	0.0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなどもも含め、費用やきまりに関する説明については	48.5%	24.2%	15.2%	6.1%	6.1%	0.0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	42.4%	33.3%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	30.3%	33.3%	9.1%	21.2%	6.1%	0.0%
	その他:要望がない、わからない					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	63.6%	33.3%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	60.6%	36.4%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	54.5%	36.4%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	その他:不明					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	72.7%	24.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	60.6%	30.3%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%
	その他:わからない					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	51.5%	39.4%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%
	その他:					

「生活」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	69.7%	18.2%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%
その他:						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	66.7%	24.2%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%
その他:						
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	75.8%	21.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	66.7%	21.2%	6.1%	0.0%	6.1%	0.0%
その他:不明						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	69.7%	18.2%	3.0%	0.0%	9.1%	0.0%
その他:まだその段階ではない						
お子さんの体調への気配りについては	54.5%	36.4%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%
その他:						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57.6%	30.3%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%
その他:そういったことがないのでわからない、						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	48.5%	36.4%	12.1%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	45.5%	48.5%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	54.5%	33.3%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	39.4%	42.4%	12.1%	3.0%	3.0%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	39.4%	36.4%	15.2%	6.1%	3.0%	0.0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	48.5%	42.4%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	39.4%	30.3%	18.2%	12.1%	0.0%	0.0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	30.3%	54.5%	12.1%	0.0%	3.0%	0.0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	42.4%	42.4%	12.1%	0.0%	3.0%	0.0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	42.4%	30.3%	18.2%	6.1%	3.0%	0.0%
	その他:不明					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	33.3%	21.2%	21.2%	24.2%	0.0%	0.0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	51.5%	36.4%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	69.7%	24.2%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51.5%	30.3%	6.1%	0.0%	9.1%	3.0%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	57.6%	21.2%	9.1%	9.1%	3.0%	0.0%
	その他:					
意見や要望への対応については	36.4%	39.4%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	その他:					

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	45.5%	36.4%	12.1%	3.0%	3.0%



株式会社フィールズ  
〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4F  
TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323